

不活性ガス消火設備の作動により 人命が失われました



令和2年12月に名古屋市中区の機械式立体駐車場で、不活性ガス消火設備による死亡事故が発生しました。

また、令和3年1月にも東京都で、同様の設備による死亡事故が発生しています。

不活性ガス消火設備は、二酸化炭素などの消火剤を放出して火災を消火する設備です。

区画内で保守等の作業をする場合は、建物関係者と作業員の双方が、作業内容や不活性ガス消火設備に関する情報等を共有して、事故防止にご留意願います。

手動起動装置を操作すると



① 防護区画形成のため
シャッターが閉鎖します。

② 防護区画に「退避警報」の
音声流れます。

③ 一定時間（20秒以上）
経過後に不活性ガスが防護
区画内に放出されます。



名古屋市中消防署

中消防署ホームページでは防火・防災に役立つ情報を発信しています

お気軽にお電話ください。
☎052-231-0119

